本殿直前の右へ曲がるこの角は90度に見えるかもしれませんが、実は88度です。日本では8は、漢字で書くとすそ広がりなので、繁盛を諭旨するとされます。なので88度は特に特に縁起が良いとされています。戦国時代（15世紀後半〜16世紀後半）に、城の門や城下町の道ではよくこの桝形が起用されていましたが、 敵への防衛力を高めるためでした。